

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第67回 ビジネス文書実務検定試験 (3.11.28)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第67回 ビジネス文書実務検定試験 (3.11.28)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

商品を購入する際、先行して使っている人の感想を知りたい人は	30
多い。現代は、それらをSNS上で簡単に検索できる。そのような	60
投稿は、ユーザー生成コンテンツ（UGC）と呼ばれている。雑誌	90
やテレビなどのマス広告より、消費者の共感を得やすい。	117
男性向けの作業着を取り扱う企業が、UGCによって新たな客層	147
を獲得した例がある。機能的に優れているだけではなく、おしゃれ	177
に着こなせるといふ商品の魅力が女性に広まった。商品への肯定的	207
な投稿が話題になると、販売の拡大につながることが多い。	235
そのため、UGCを自社サイトに載せ、販売促進に活用しようと	265
する企業が増加している。だが、採用に際しては細心の注意が必要	295
になる。使用された画像や文章の表現などが不適切な場合、企業の	325
マイナスイメージにつながってしまうからだ。	347
以前は、マス広告がマーケティングの主流であった。現代では、	377
個人による情報の発信力が高まっているため、消費者は商品を購入	407
するだけの存在ではなくなった。人々の共感力に着目して、個人の	437
発信力を活用する企業は、今後も増加するだろう。	460